

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ…



2020年
2月19日
第79号

オウバイモドキ（モクセイ科）

園内、池の前、自然植物区で長く枝は垂れて、その枝にふっくらした雰囲気の良い黄色い花が見られます。中国南西部原産で、原産地付近の地名からウンナンオウバイ（雲南黄梅）と名づけられました。ただ、どうでしょう、あまり梅には似てませんよね？モクセイ科ソケイ属で、ジャスミンの仲間ですが、残念ながら香りはほとんどありません。同科同属に、中国北部原産のオウバイがあり、どちらも江戸時代に渡来したようですが、ほんの少しウンナンのほうが遅かったので、オウバイモドキという、ありがたくない名がつけられ、こちらが正名となりました。オウバイとの大きな違いは、オウバイは落葉樹で葉は花の後につきますが、こちらは常緑で、花と葉が一緒に見られます。中国では、オウバイの葉を活血解毒、花を清熱利尿を目的に使用します（生薬名：迎春花）が、オウバイモドキには薬用とされる記録は見つけれませんでした。



ヤコウカ（ナス科）

温室の中で、今、花が見られます。ヤコウカは漢字で書くと「夜香花」。別名、ヤコウボク（夜香木）とも呼ばれます。文字どおり夜になると、むせ返るような甘い匂いが辺りに漂うそうです。残念ながら夜の香りを嗅ぐチャンスはまだありませんが！細く長いマッチ棒みたいな花が、夕方から開いて朝に閉じることをくり返し、一週間ほどでバラバラに落ちてしまいます。かつては、イエライシャン（夜来香）と混同されてましたが、イエライシャンはガガイモ科で、これも良い匂いがします。どちらも「ナイトジャスミン」と称する香水の原料になります。精油の主成分はフェネチルアルコールで、バラの香りに近いです。

今、こんな草木が楽しめます！！